

# 長田 奈津子 氏 (福井県あわら市)



長田氏

・農業を志し福井県に移住。平成19年に農家に嫁ぎ、100年以上前から続く農家の一員となる。家族経営協定を締結し、就業条件や役割、収益配分を見直したことをきっかけに、家族で農業経営改善計画の共同申請を行う。

・共同経営者として、農作業全般、経営管理、情報発信を担当し、農業経営の発展に貢献。より品質の高い、おいしい野菜や米づくりを目指し、水稻、メロン、スイカ、トマト、大根、人参を生産。

・農業を始めようとインターネットで情報収集して研修先を見つけた経験から、新規就農者に向けて福井県でリアルに起きている農作業を伝えたいと思い、平成28年からfacebook、令和3年からInstagramを活用した農作業の日記をつけ、農作業の取組状況を情報発信する。

・平成29年から長田農園ブランドづくりを意識し、オリジナルロゴや生産品目を印刷した直販パッケージを作成。農園紹介のリーフレットや農作業の近況をまとめた定期通信が消費者とつながるきっかけとなり、主な販売先は固定客となっている。



マルセイユメロン(上)  
大玉すいか(下)



オリジナル直販パッケージ(上)  
と出荷の様子(下)

・女性新規就農者や子育て世代の新規就農者のアドバイザーを務める。中学校の社会科授業や職場体験等の受け入れ、福井県立大学の特任講師として活動し、次世代の農業者育成に広く貢献。また、地元の若手女性農業者グループの代表を務めた他、県域の女性農業者グループ活動に参加し、地域を代表する女性農業者として活躍し、地域の農業振興に係る活動に参画。

・令和元年から3年間、あわら市の農業委員を務め、農業後継者の育成と遊休農地の利用促進が重要であることを実感。県内で最初に里親農家の活動を始めた農家の後継者として役割を引き継ぎ、ふくい園芸カレッジ研修生や就農希望者の受け入れ等、農業後継者の育成に積極的に取り組む。



里親農家の活動の様子